



外国につながる若者たちと夢をつなぐ

かなゆうきょう

かなふくきょうしょうがくきんせいど

「神遊協・神福協奨学金制度」の取り組み

外国につながる若者の高校卒業後の進路に対して、支援の必要性の有無を考える時、主に次のような不安要素があげられます。

・経済的要因（学費などの不安）

・言語的要因（日本語能力などの不安）

・心理的要因（将来に対する漠然とした不安感やロールモデルの不在など）

また当事者の若者たちからは、次のような声を聞くことがあります。

「進学する金銭的余裕がないから家族を支えるために高卒で働く」

「学費が払えず中退を考えている」

「専門的な授業についていけないのか心配」

「レポートや試験に合格できない」

「就職の際に外見や名前で差別されるのではないか」

「外国籍だと就職できない職種があるのか不安」

これらの不安要素や声が存在することで、高校卒業後の進路の選択肢が限られている、という現状があります。

こうした背景をもとに設立されたのが「神遊協・神福協奨学金制度」です。今回は、この奨学金制度を利用しながら保育士を目指す奨学生4名に、保育士になろうと思っただきかけや苦労した点など、保育士になるまでの過程から今後について話を伺いました。

「神遊協・神福協奨学金制度」とは

言語や多様な文化的背景を活かせる職種の一つである保育士を目指す、外国につながる若者を支援するために設立された奨学金制度。応募者から奨学生を選考し、神奈川福祉事業協会からの助成金と、横浜YMCAからの協力により奨学金（一人につき年間60万円）を給付。

奨学生は、横浜YMCAの協力により、YMCAの専門学校で卒業までの3年間、保育士の資格取得に必要な学習を行う。

広報や、外国につながる生徒とその家族のために必要な言語サポートおよび情報提供等、事業運営全体については（公財）かながわ国際交流財団が担当。2015年度から募集と選考が開始され、2020年度に卒業する奨学生まで計9名の外国につながる若者たちを支援した。

神遊協・神福協奨学金制度の 奨学生4名にインタビュー



なぜ保育士を目指したのか

保育士になろうと思ったきっかけを教えてください

福田さん…

小学校の頃から保育士になるのが夢でした。

私の母が日本に来てまだ1、2年しか経っていない頃、日本語や日本文化がわからず大変でした。その時に支えてくれたのが、当時私に通っていた、YMCAの保育園にいた通訳さんだったのです。

その様子を間近で見ていると、子どもながらも「困っている外国人を支えられる人になりたい」と思い



福田 咲希さん

ました。その気持ちは、保育士を目指す気持ちにつながっていきました。

イエンさん…

小学2年生の頃にいとこが生まれ、その世話をしたことがきっかけです。

身近に子どもと触れあえる環境があったので、保育士を目指すようになったらね。高校生の頃、ネイリストに憧れた時期もありましたが…。

カルラさん…

私は小学生の頃、過去の経験から心理学を勉強したいと思っていました。

でも高校生になって進路をなかなか決められないでいた時、昔から子どもが好きだったこと、ドミニカの保育園でアルバイトをしていたことを思い出し、保育士を目指しました。

その時、同時に「子どもの笑顔を毎日見たい」「様々なことを子どもたちに教えたい」と思いました。そうした気持ちの変化が保育士を目指すきっかけでした。

林さん…

高校3年生の頃にいとこが赤ちゃんを産み、世話をしているうちに「保育士になりたい」という気持ち芽生え、目指すようになりました。元々、お菓子を食べるのも



ファン ティ キム イエンさん

作るのも好きだったので、パティシエになることも夢でした。

「神遊協・神福協奨学金制度」をどのように知りましたか？

林さん…

私は、通っていた高校の担任の先生に「神遊協・神福協奨学金制度」のことを教えてもらいました。その後、相談にも乗ってもらいました。

福田さん…

YMCAの入学前説明会に参加して、自分が外国籍であることを学校に伝えました。その時に「神遊協・神福協奨学金制度」について詳しく教えてもらいました。

進学支援に関する情報は、自分から積極的に探していたので、結果としてよい情報が得られたと思っています。

イエンさん…

私は「神遊協・神福協奨学金制度」があるからYMCAを選んだというわけではなく、入学前に外国籍であることを伝えた時に紹介してもらいました。

カルラさん…

私は学校で進路について相談していて、YMCAを見学することになり、見学時に「神遊協・神福協奨学金制度」について詳しく聞きました。具体的に進路を考えるまでは知りませんでした。

YMCAを選んだ理由はありませんか？

林さん…

先ほど話したように「神遊協・神福協奨学金制度」があるからという点と、YMCAの戸塚校は、保育だけではなくスポーツも学べる点が魅力的に感じていました。スポーツは得意ではありませんが、「好きになりたい」という挑戦心がYMCAを選んだ理由です。

カルラさん…

私は、高校の担任の先生にいくつか学校を勧められて、見学に行っ



バエス アリアス カルラ アレハンドラさん

ていました。そのなかでYMCAは、私と同じように外国籍の学生が多いことを知りました。当時の私は、まだ日本語がうまくないことに不安を感じていました。ですから「外国籍の学生が多いYMCAなら、様々なことをうまく教えてもらえるのではないか」と思い、YMCAを選びました。

イエンさん…

「神遊協・神福協奨学金制度」があったことも選んだ理由のひとつですが、入学前は保育士だけではなく、福祉の仕事にも興味がありました。そのため、保育士免許を取得できるだけでなく、福祉のことを学ぶことができる「人間福祉コース」がYMCAにあったことがきっかけです。

福田さん…

「保育士になるきっかけ」でも話しましたが、私自身が通っていた保育園は、YMCAが運営する保育園でした。

YMCAの保育園で育ったことが、保育士を目指すきっかけになったので、YMCAで保育士免許を取ることを決めていました。

「YMCAで学び、YMCAの保育園で働く」ことが私の理想でした。

学校生活について

実際入学してみて「イメージと違った」と感じたことはありましたか？

福田さん…

高校生の頃は一クラスの生徒の人数が多かったので、YMCAでもそうだと思っていました。

しかし実際に入学してみると、一クラスの学生の人数が11人ほどで、少人数であることに驚きました。

一クラスの人数が少ない分、担任の先生と学生のコミュニケーションの機会が多くなるので、結果的によい選択だったと感じています。

イエンさん…

私は、思っていた以上に宗教を大事にしている点に、イメージとの違いを感じました。

学校の行事で、毎年クリスマス時期には、教会へ礼拝に行ったりしていました。

そうした宗教に関するイベント以外にも、スポーツ大会やキャンプといった様々な行事が、1年間をとおして多く開催されることは、いい意味で入学前後のイメージと違ったことでした。

カルラさん…

私は入学前後でもっていたイメージと大きな違いを感じませんでした。比較的イメージ通りです。

林さん…

私もカルラさんと同じですね。

学んでいるなかで楽しかった・よかったなと感じた点はどんなことでしたか？

林さん…

私はスポーツのなかで特に水泳が苦手なのですが、YMCAでは水泳のテストがありました。そこで友人とともに一生懸命練習しました。その結果、学校のテストに合格。苦手なものを克服できたことは、いい経験だったと感じています。

カルラさん…

私はピアノの演奏がとても苦手でした。人前で自信を持って弾けるのか、という不安もありました。一方で、保育士になるためには、ピアノが弾けることは必須だとわ



かっていました。ですから、ピアノの授業やテストは私にとってとても心配なことでした。

上手に演奏できていなかったかもしれないですが、頑張ってピアノを弾けるようになったので、とても嬉しかったです。クラスメイトや先生にはたくさん助けってもらいました。

イエンさん…

以前の私は、人見知りの性格も影響して、自分以外の人に興味を持つということができていませんでした。でも、学校のソーシャルワークに関連する授業で、いろいろな人がそれぞれに求めていること、つまり人の気持ちや考え方について学びました。そのことが私の性格や考え方により影響を与えたと思います。まだ人見知りの性格のままではありますが、学校に入ってからいい意味で考え方が変わりましたね。

福田さん…

先ほど話のなかであがっていましたが、YMCAは年間に開催されるイベントがとても多い学校です。

4月は野外キャンプ、5月はスポーツ大会、6月はウォーキング、7月8月は実習等々と、1・2年生では月1ペースで何かしらのイベントがあります。

その分楽しくはあるのですが、イベントの開催日までにどういった

ことをやって、それを誰が担当するのか、いつまでに行うのかといったスケジュールなど、様々なことを学生たち自身で決めていかなければなりません。

誰かしら毎週、校内放送で呼び出される・・・といったことが頻繁にありました。それが本当に大変でした。でも今、振り返ってみると、自分たちで物事を動かす経験ができたことは、将来のどこかで役に立つかなと思います。そうした経験ができてよかったです。



学校生活を送ったなかで苦勞したことはありましたか？

福田さん…

様々なことに苦勞したのですが、

特に人間関係については苦勞しましたね。高校生になりたての時は、まだ自分本位で意見を言っていて、周りの人たちの意見をあまり聞けない自分がありました。

でもYMCAに入ってから、先ほど話したように、学校の行事で物事を決めたり、友人と話をしていくなかで、人の意見を聞いて参考にしたりと、様々なことを学べるようになりました。

イエンさん…

学校のイベントのなかには、保育士や福祉に関する実習があるので、それが私にとってとても辛くて苦勞しましたね。

毎日一緒に過ごしている先生やクラスメイトから離れて、基本的に一人で実習先に向かい、合計4週間ほどの実習を行います。4週間という長い期間、全く知らない人とコミュニケーションを取らないといけない。そうした環境のなかで、わからないことを聞いたりするのがすごく難しかったです。

カルラさん…

私も苦勞したことは多くありました。特に丁寧語を使ったり、人前で発表したりすることがとても苦手で緊張してしまいます。

学校の授業やイベントでは、人前で発表したり、リーダーシップを取ったりする機会も多かったのですが、自分は本当に一人でできる

かという不安を持っていました。

正直、人とのコミュニケーションがうまく取れないこともあり、人間関係にも苦労していたので、周りの人に助けを求めめることも苦手でした。

一人でできることは一人でやって、どうしても無理だったら他の人に頼って・・・というやり取りだったので、人前での発表はとても難しかったです。

最初は「一人で発表するなら絶対にやらない！」といった気持ちでした。でも先ほど説明したように頑張ることができるところまでは一人で発表して、どうしても無理な場合は、近くにいるクラスメイトに頼れるようになっていきました。

少しずつではありますが、周りの人たちの優しい助けによって、人



前での発表に自信を持てるようになってきています。

林さん..

私は実習が一番苦労しましたね。保育園の先生たちと話す時に、敬語を使うことが苦手でした。また、日誌を書くことも苦手でした。保育園によって書き方のルールが違うこと、手書きで漢字を書くことが大変でしたね。

**学校生活を送っているなかで
保育士になるか迷ったことは
ありましたか？**

福田さん..

迷ったことはありませんね。一番そう感じていたのは実習中でした。

林さんが話していたように、実習が終わった後に日誌を書くのですが、その日誌を書いているなかで「この職業は私に向いているのかな」と、とても悩みました。

日誌の量も意外と多くて、幼稚園実習とかがあったら手書きで3枚その日の1日の流れを書くのですが、「その時に保育士になってもこれが続くのか」と考え込んでしまいましたね。

他にも子どもと過ごしているなかで、子どもとの関わり方を間違えることが結構あるんですよ。

初めて会う子どもたちですし、短い期間しか関わっていないので、間違えて失敗した時は落ち込んでしまったし、「私に保育士は向いてないかも」と思うことが多かったです。

実習が終わった後に、クラスメイトと実習のお疲れ様会をするのですが、それを楽しみに乗り越ええましたね。「実習こうだったね」と話し合える場所があったからこそ、頑張れました。実習中は、クラスメイトと電話で励まし合っていました。

イエンさん..

私も福田さんと同じく実習ですね。実習中も、実習が終わっても、とても辛かったです。

実習目標があるんですが、実習途



中でその目標を失ってしまい、実習に来ているけれど何を学べいいのか考えてしまい、気持ちの上で迷子になってしまいました。

でも、担任の先生が実習先を巡回してくれていたのが、機会をとらえて相談したり、実習の1日を終わると、「今日の实習も頑張ったね」みたいな感じで、クラスメイトと励まし合ったりしました。

両親も応援してくれていたのが、くじけそうな気持ちを立て直すことができました。

そのおかげで最後まで実習を頑張る、保育士になる夢から逃げ出さずにいることができましたね。

カルラさん..

私も実習です。日本語を話すのは問題なかったのですが、日誌を書



くことに苦労しました。

1日の流れや自分の気持ちを文字にするのが苦手なので、日誌を書く時は4時間、5時間かけて日誌を書いていました。そして、次の日に日誌が返ってくると、いろいろなことで失敗していることがわかり、気持ちが落ち込んでしまっていました。

子どもたちとの関わり方でも所々で失敗して「この仕事って本当に私に合っているのかな？」と迷っていました。

でもそんな時、担任の先生との面談や、実習先の保育園の先生と面談がありました。「こういうのはすごくよかったよ」「今はすごく頑張っているから、そのまま続けたら大丈夫だよ」と担任の先生が

ら声をかけてもらい、励まされました。そして「頑張れば絶対できる」という考え方に変わっていき

私はネガティブな方向に気持ちが集中しがちです。そのため、できていることを他の人から言葉で伝えてもらえると、ポジティブな気持ちになるし、先のことまで見えるようになるので、とても助けられましたね。

林さん…

私は人前で発表する時に「保育士になって、子どもたちの前でも同じようにできるかな」と悩んでいたことがありました。

今も不安はありますが、「夢である保育士になるために頑張ろう」と自分に言い聞かせて、気持ちをコントロールするようにしています。

今後について

今後、自身と同じような外国につながる若者（後輩）にどういった制度があればいいと思いますか？

福田さん…

私自身の経験で話すと、やはり「神遊協・神福協奨学金制度」の

おかげで、両親があまり辛い思いをせずに生活できたことは、一番大きいサポートだったなと思っています。

特に日本に来たばかりの方や、あまり日本語や日本での生活がわからない方はとても苦労する部分があると思います。そういった時、金銭面でサポートしてもらえる制度があることは、これからの外国につながる若者（後輩）にとって、すごく助かるはず。今後そうした制度があってほしいですね。

他にも、私自身は日本で生まれ育ったのですが、カルラさんのように最初に日本語の理解が難しい方に対して、学校の授業以外にも語学のサポートが充実していくと、本人も学校や日本で暮らしていくことに馴染みやすくなるのではな



いかと感じています。

イエンさん…

私にとっても大きかったのは、金銭面でしたね。「神遊協・神福協奨学金制度」を受けることができたおかげで、両親がとても助かったのが、一番嬉しかったことでした。

私たちの代で「神遊協・神福協奨学金制度」はなくなってしまうというのですが、今後も同じように学校での費用を支援してくれるような制度があってほしいと思っています。

カルラさん…

私もこの「神遊協・神福協奨学金制度」があったからこそ、生活に問題なく、学びを続けられたということがあるので、とても助かりました。今後この制度がなくなってしまうたら、次の後輩はとても苦労するのではないかと思うので、似たような制度や支援があってほしいです。

それから、さっき福田さんが話していたように、日本に来たばかりで日本語や日本文化がわかっていない人に向けて、サポートがあってもいいかなと思います。

私は他の人の話を聞いたりしながら日本語を覚えていきました。でも、授業では日常的な会話ではなくて、学習用の独特の言い方が多いので、理解することがとても難

しくて・・・空いている時間に先生と一緒に特別な勉強をしたり、漢字の勉強をしたり、授業でわからなかったことを1対1で勉強していました。授業中はクラスメイトと一緒にテキストを読んでくれたり、問題の説明をしてくれたりしたので、すごく助かりました。外国につながる若者（後輩）が、そのようなサポートを得られる環境であってほしいです。

林さん..

私もみんなと同じように授業中にわからないことがあった時、担任や授業の先生、周りのクラスメイトが優しく教えてくれ、助けられました。ですから、そういった日本語への理解を深められるサポートや制度があればいいと思っています。



よりよい保育士になるために、今頑張っていることや今後頑張りたいことはありますか？

林さん..

私は保育園の先生や子どもたちの保護者の皆さんとスムーズにコミュニケーションを取っていくために、敬語をもっとうまく使えるように頑張っています。

カルラさん..

私も敬語や丁寧語を使い分けながらコミュニケーションを取ることがまだ上手ではないので、自分で練習したり、先生と勉強したりしながら上達していきたいです。

それから、自分が保育士になってクラスを担当することになった時のために、「2歳児にはこういったゲームがいい」とか「こういったことはまだできないから、こういった工夫が必要」といったように、準備をしています。そうした工夫が自然にできるようになってきたら、自分の出身国の遊びを取り入れるといった、私だからできることをしてみたいです。

イエンさん..

人とのコミュニケーションですね。繰り返しになってしまいますが、人見知りする性格なので、初対面の人は、うまくコミュニケーションが取りにくいんです。相手から話し掛けてくれないと自分から



話し掛けられないタイプ。なにか話題がないと、どうコミュニケーションを取ったらいいのかかわからない部分があります。

でも、保育園ではたくさんの子どもや、職員の方々と関わらなければならぬ。人見知りをなくして、もっと人とコミュニケーションを取れるように頑張りたいです。

福田さん..

私はどちらかというと社交的な性格なので、人に対していろいろと質問することはできるのですが、それだけで終わってしまうことがあります。質問を通じて、人とコミュニケーションを取っていくなかで、もっと相手を知ろうとしたら、相手の回答をさらっと流さないようにしたりして、今よりも深

いコミュニケーションを取れるようになりたいですね。

保育士になるという夢を叶えた皆さんですが、新たな夢や挑戦してみたいことはありますか？

福田さん..

保育士になって、何年か後に結婚したとして、その時もし保育士を一旦辞めることになったとしても、言葉に不安がある子どもや保護者の方と関わられるような仕事にまた就けたらなと思っています。

イエン..

私は3、4年ぐらい保育士をした後、その時に自分がやりたいことや、興味があることに挑戦してみたいですね。今は保育士になるという一番の夢があつて頑張っていますが、最近では通訳の仕事にも興味が出てきています。通訳の仕事のことや外国語についても勉強して、保育士の経験も生かしながら挑戦してみたいですね。

とはいえ、保育士や通訳の職業だけでなく、その時に興味がある他の職業に、可能なかぎり就いてみたいです。

カルラさん..

今は自分から人に話しかけることが全くできないので、将来に向け



とを素直に答えられるタイプなので、面接ではとくに苦労することはないかなと思います。もちろん面接の練習はしっかりやりました。

でも、履歴書を書くのはちょっと失敗をしてしまい、大変でした。

イエンさん…

面接は緊張でしかなかったですね。担任の先生との練習ですら緊張していたので、本番の面接ではさらに緊張しました。

でも、伝えたいことをしっかりと話すために努力していました。

カルラさん・林さん…

私たちも面接では緊張してしまっただけで苦労しましたね。

では最後に、皆さんと同じように外国につながる若者（先輩）にメッセージをお願いします。

イエンさん…

やっぱり、夢って大事だと思えます。夢を叶えるために、辛いことも頑張れます。

「これ無理だ」と諦めてしまう人も多分いると思いますが、「諦めなければ実現できる」「諦めなければ叶う」と信じて頑張ってください。

福田さん…

て頑張つてできるようになりたいです。そして保育士として仕事を頑張つて、自分の家族を支えられるようになりたいと思っています。

林さん…

私は保育士として30歳ぐらいまで働いたら、もう一つになりたかったと話した、パティシエになりたいと考えています。ただのパティシエではなく、そこにも保育士の経験を生かしていけたらいいですね。

受験（面接試験・その他）に際して努力したことはありますか？

福田さん…

私はどちらかというと、思ったこ

辛いことや諦めたくなること、投げ出したいことなど、いろいろあると思いますが、人生なんとかあります。未来のことを心配しすぎたのではない、今を一生懸命歩みながら生きていってほしいです。

カルラさん…

今はやっぱり大変かもしれないし、夢を持っていない人もいるかもしれないですね。でも、将来どうなりたいかをしっかりと考えて、夢が来た時は諦めずに、焦らないで、少しずつ自分のペースで頑張ればなんとかなります。

一番大事なのは、諦めないということです。

林さん…

もし日本にまだ馴染めていない場合、日本語を間違えることが不安



だったり、心配だったりすると思います。

ですが間違えてしまっても大丈夫です。きっと周りの人や友人が優しく助けてくれるはずですよ。

だから、勇気を出して先生やクラスメイト、周りの人たちなど、多くの人たちとコミュニケーションを取っててください。

取材を終えて

今回皆さんの話を伺っているなかで、丁寧な言葉を遣いながら「自分の気持ちを相手にしっかりと伝える」と意識していることがとても印象的でした。

そこには今まで学んできたことや「これから頑張っていきたい」という意思がしっかりと反映されていると感じました。

また、「諦めなければ夢は叶う」という皆さんの言葉が、心によく響きました。今後も皆さんの活躍を楽しみにしています。

インタビューを受けていただき、ありがとうございます！

神遊協・神福協奨学金制度を利用後

活躍する9名の奨学生をご紹介します



奨学生に聞きました！

- ①氏名②卒業年③出身高校④つながりのある国・地域
- ⑤よりよい保育士になるために頑張っている・頑張っていたこと
- ⑥これからの夢
- ⑦外国につながる若者たち（中高生世代）にメッセージ



- ①加茂 カレン ゆかり
- ②2020年
- ③湘南台高校
- ④ブラジル

⑤「人とちがう」ことで子どもが悩むことのないように、温かい保育ができるように心がけています。
⑥自分、子どもたち、保護者の未来が明るくなるために、生き抜く力を育て成長していきたいです。
⑦生きづらさを感じることもありますが、この奨学金のように支えてくれる制度や人たちは必ずあります。心を閉ざすことなく可能性を信じてください。



- ①小浜 ビビアナ
- ②2020年
- ③秦野総合高校
- ④ペルー・スペイン

⑤社会福祉の知識を活かし保護者との信頼関係を大切にしています。寄り添える保育士になりたいです。
⑥産前産後のケアや子育て支援、乳児の相談ができる活動もしてみたいと考えています。
⑦壁にぶつかった時、視野を広げれば必ず前に進むことができます。身近にいる先生や親・友人に”頼る”ことを大切に、夢に向かって頑張ってください。



- ①セルート 仲真 カレン 幸枝
- ②2020年
- ③清心女子高校
- ④ペルー・ボリビア

⑤お手紙、募金活動、保育のカリキュラム作りなどPCを使った仕事ができるように頑張りました。
⑥保育士になる夢がかなったので、日々成長し前進していきたいです。
⑦不安や心配があると思いますが、つながっている国の人たちのためにも、笑顔で前に向かっていくことは意味があります。これからも頑張っていきたいと思います。



- ①西嶋 アンジェリカ
- ②2020年
- ③平塚湘風高校
- ④フィリピン

⑤子どもの興味をひけるような工夫や英語を交えたコミュニケーションで、外国籍の子どもの不安を取り除けるように努めています。
⑥外国籍（特にフィリピン）の子どもたちを集めて、保育園や幼稚園を作りたいです。
⑦私は子どもが好きなので保育士になりました。皆さんも自分の好きなことを探してみてください。



- ①バエス アリアス カル
ラ アレハンドラ
- ②2021年
- ③愛川高校
- ④ドミニカ

⑤敬語や丁寧語の使い方を上手になること、子どもたちがより楽しめるような工夫を考えたいです。
⑥よりよい保育士になるために、自分からコミュニケーションをたくさん取れるようになりたいです。
⑦たとえ夢がなくても焦らず、自分のペースで進んでいけば大丈夫です。何事にも諦めずに頑張ってください。



- ①林 恵茜
- ②2021年
- ③有馬高校
- ④中国

⑤先生や保護者の方とスムーズにコミュニケーションを取るため、敬語の使い方をうまくなりたいです。
⑥保育士として頑張りたいのと、もうひとつの夢であったパティシエとしても活動してみたいです。
⑦日本語を間違える等、失敗しても周りの人たちが助けてくれるから大丈夫。勇気を出して多くの人とコミュニケーションを取ってください。



- ①ファン ティ キム
イエン
- ②2021年
- ③柏木学園高校
- ④ベトナム

⑤人見知りの部分があるので、初対面の人ともコミュニケーションを取れるようになりたいです。
⑥保育士の他に通訳にも興味があるので、保育士の経験を活かしながら他の仕事も経験してみたいです。
⑦夢を持つことは大事です。諦めなくなる時もあるかもしれませんが、諦めなければ叶うと信じ、頑張ってください。



- ①福田 咲希
- ②2021年
- ③大和南高校
- ④ベトナム

⑤社交的な性格を活かし、人のことをもっと知ることができるコミュニケーションが取れるようになりたいです。
⑥保育士として成長しつつ、語学に不安を持つ保護者のサポートができるような仕事がしたいです。
⑦不安や悩みなどあると思いますが、なるようになるので、まずは今を一生懸命に生きていきましょう。



- ①百瀬 ミレナ 美恵
- ②2019年
- ③平塚湘風高校
- ④ブラジル

⑤子どもとの関わりはもちろんのこと、日本語の大切さも知り、これからさらに学んでいきたいです。
⑥今はまだ教えていただくことばかりですが、教え、伝えることのできる保育士になりたいです。
⑦不安があるかもしれませんが、子どもたちに母国語を伝えられる等、楽しく仕事ができます。外国とつながっていることに、誇りを持ってください。



奨学生の成長を見守った 団体のご紹介

「神遊協・神福協奨学金制度」は、おもに横浜YMCAのYMCA健康福祉専門学校（厚木校）・横浜YMCA学院専門学校（戸塚校）と神奈川県福祉事業協会からのサポートで成り立っています。そこで、YMCA戸塚・厚木校の青木さん、寺内さんに「神遊協・神福協奨学金制度」に取り組んでどう感じたかなどを伺いました。また「神遊協・神福協奨学金制度」が2020年度の卒業生をもって終了となりますが、今後はどのように外国につながる若者たちを支援していくのでしょうか。

実際に「神遊協・神福協奨学金制度」の取り組みがスタートしてからどうでしたか？

青木さん…

外国につながる学生が、経済的な支援を必要としていることをあらためて認識しましたね。ご両親とともに、授業料の分割払いの計画を一緒に作ったこともありましたが、また、家族の教育的背景が大きく違うために、日本人家庭だと得られる家族からのサポートが、外国につながる学生たちだと難しいこともある、ということは実際に取り組んで実感した点です。

寺内さん…

文化や宗教的な違いも難しかったですね。保育士を養成する学校なので、子育てに深く関わるということもあり、文化的な違いが際立つことがあります。宗教的な理由でタトゥーを入れていた学生がいて、受け入れをどうするか学内で議論したことなどは一例です。受け入れ側もいっそうの理解と工夫が求められます。

学生側も多くの戸惑いがあったことでしょうか。ですが、授業やイベントなどを通して、外国につながる学生たちが日本人学生と同じ環境にいて、さまざまなことを吸収しあえるようになっていきました。きっと将来はこの経験を生かして、保育士として現場にいい影響をもたらしてくれると思います。結果として、この奨学金に取り組んでよかったと手ごたえを感じています。

学生を受け入れてから苦勞した点はありませんか？

青木さん…

入学前の学校見学や職場体験、奨学金制度の説明、入学前オリエン

テーションでは、かながわ国際交流財団に引率のサポートや通訳のアレンジをしてもらい、学生やご両親が納得するまで、言語サポートをしてもらいました。

入学後は、日本人学生と同様に学校生活が始まるわけですが、日本語能力は、外国につながる学生たちのなかでも違ってきます。そうした環境のうえに、専門職ならではの用語も理解しなければなりませんので、学生は苦勞したと思います。横浜YMCAには日本語講師がいますので、個別にアレンジしてサポートしてもらいました。学生だけではなく、そのご家族が理解しやすいように、YMCAとして説明を工夫するといったことも丁寧に行いました。

しかし苦勞といったことはなく、学生本人がそれぞれに努力をしてくれたという印象です。例えば、一期生の百瀬さんは、学業成績も優秀で、卒業式には学生代表で答辞を読みましたし、二期生のアンジェリカさんは、歌が得意で発表会で堂々と披露していました。三期生の林さんは、日中の保育の違いについてプレゼンテーションをして表彰されたりしています。

クラスメイトである日本人の学生も、私たち以上に彼らをサポートしてくれましたね。

外国につながる若者たちとながらるために、こういった取り組みを考えていますか？

青木さん…

「神遊協・神福協奨学金制度」は終了しますが、私たちのなかでは外国につながる若者たちのサポートへの取り組みが終了するわけはありません。高校の先生方や、
※多文化教育コーディネーターさんともこの制度を通して関わりましたので、今後もお世話になると思います。

寺内さん…

サポートを継続したいという気持ちを持ち「この人はダメ、この人はいい」といった垣根は持たずに受け入れ体制を整えていきたいです。

青木さん…

具体的には、YMCA内部の保育事業がスポンサーとなり、奨学金制度を設けようと動いています。他にもYMCA校すべての入学試験で、外国につながる若者たちの特待生を出すことで、学費を免除

するといったことも、取り組んでいきたいと考えています。まだ不十分ではありますが、この奨学金制度をきっかけに、保育士だけではなく、幅広い職種を目指す若者へのサポートの取り組みが動き出しています。

青木さん…

YMCAのポジティブネット募金ではクラウドファンディングを利用したところ、多くの企業や一般の方に協賛していただきました。そこで、関心や興味がある方はいることを実感できましたね。今後はネット社会という現代の特徴を生かしながら、外国につながる若者たちに学ぶ機会を提供できるように、様々な企業や一般の方と手を取り合って頑張っていきたいです。

※多文化教育コーディネーター

認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ(MEInet)が、神奈川県教育委員会と協働で行っている事業。

県内の県立・市立高校25校に36名の多文化教育コーディネーターを派遣(2020年度実績)し、高校の先生と協力して外国につながる生徒に必要な支援を計画・実行するしくみ。

(参照：<http://me-net.or.jp/service/coordinate>)

【問合せ先】

横浜YMCAスポーツ専門学校

045-864-4999

もうひとつの支援団体をご紹介します

神奈川福祉事業協会

神奈川福祉事業協会は、昭和60年2月に神奈川県遊技場協同組合をはじめ、神奈川県流通商福祉防犯協力会や神奈川相互取引株式会社など、神奈川県内の遊技業界の中で「社会福祉に貢献する組織」として設立。福祉車両の助成やポリショイサーカスの招待事業など、設立当時から継続されている事業の他、文化的・教育的事業にも取り組んでいます。

主な事業紹介

- 福祉車両の助成
- ポリショイサーカスの招待事業
- ふれあいコンサート開催



会長：伊坂 重憲

所在地：〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町1-6-10 神奈川県遊技場協同組合会館7F

問合せ先：045-322-2012

HP：<https://www.kykk.com/fukushi/>



公益財団法人 **かながわ国際交流財団**
Kanagawa International Foundation

www.kifjp.org

発行：2021年3月